

乙 第 号

岩佐 陽介 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

| | | | |
|---------|----------|------|--------|
| | 委員長 | 教授 | 長谷川 正俊 |
| 論文審査担当者 | 委員 | 講師 | 西尾福 英之 |
| | 委員(指導教員) | 病院教授 | 小山 文一 |

主論文

The middle rectal artery detected by contrast-enhanced magnetic resonance imaging predicts lateral lymph node metastasis in lower rectal cancer

下部直腸癌における側方リンパ節転移に関して、造影 MRI で描出される中直腸動脈の転移予測因子に関する検討

Yosuke Iwasa, Fumikazu Koyama, Nagaaki Marugami, Hiroyuki Kuge, Takayuki Nakamoto, Shinsaku Obara, Satoshi Nishiwada, Takeshi Takei, Tomomi Sadamitsu, Satoshi Yamauchi, Kimihiko Kichikawa, Masayuki Sho

International Journal of Colorectal Disease 2021 Aug;36(8):1677-1684

論文審査の要旨

下部直腸癌では側方リンパ節転移が予後不良因子で、側方郭清による予後改善効果が報告されているが、側方郭清による排尿障害や性機能障害のリスクもあるので、より適切な患者選択が重要な課題となっている。本研究では、造影 MRI で描出される中直腸動脈の有無とリンパ節転移との関係を詳細に検討して、同動脈の存在は側方リンパ節転移の予測因子となりうること、同動脈が画像上存在しない症例では側方領域の治療を省略できる可能性があることなどを示唆しており、注目に値する論文である。

公聴会では、造影 MRI による中直腸動脈の診断について、その確実性と再現性、PET、CT、その他の画像診断との比較における優劣、さらにこれらの組み合わせによる診断能向上の可能性、センチネルリンパ節生検との比較、中直腸動脈の走行とリンパ流との一致性などについて質問し、さらにまた、本研究の発展性と実臨床における今後の展望についても質問したが、いずれに対しても研究背景とデータの正確な理解、解釈と深い洞察に基づく的確な回答が得られた。

造影 MRI による中直腸動脈の描出の検討が下部直腸癌の手術における適切な手術法の選択に貢献する可能性を示唆した画期的な研究で、臨床における価値も高く、さらに発展することが期待され、博士（医学）の学位に値する非常に有意義な論文と評価できる。

参 考 論 文

1. The prognosis and recurrence pattern of right- and left-sided colon cancer in stage II, stage III, and liver metastasis after curative resection.
Nakamura Y, Hokuto D, Koyama F, Matsuo Y, Nomi T, Yoshikawa T, Kamitani N, Sadamitsu T, Takei T, Matsumoto Y, Iwasa Y, Fukuoka K, Obara S, Nakamoto T, Kuge H, Sho M. *Ann Coloproctol.* 2021 Oct;37(5):326-336.
2. A combination of subcuticular sutures and subcutaneous closed-suction drainage reduces the risk of incisional surgical site infection in loop ileostomy closure.
Fukuoka K, Koyama F, Kuge H, Obara S, Nakamoto T, Iwasa Y, Takei T, Matsumoto Y, Sadamitsu T, Sho M. *Surg Today.* 2021 Apr;51(4):605-611.
3. 下血を契機に診断された成人上行結腸重複腸管の1切除例.
岩佐 陽介, 西沼 亮, 中尾 武, 福本 晃久, 堤 雅弘, 青松 幸雄.
日外科系連会誌 44 卷 5 号 Page 950-955 (2019.04).

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに消化器機能制御医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和3年12月14日

学位審査委員長

放射線腫瘍学

教授 長谷川 正俊

学位審査委員

画像診断・低侵襲治療学

講師 西尾福 英之

学位審査委員(指導教員)

消化器機能制御医学

病院教授 小山 文一